

会社概要

会社設立	名立	沖縄セルラー電話株式会社 1991年6月1日
事業内容	内容	電気通信事業
本拠地	社址	沖縄県那覇市松山1丁目2番1号
資本金	金	1,414,581千円

役員

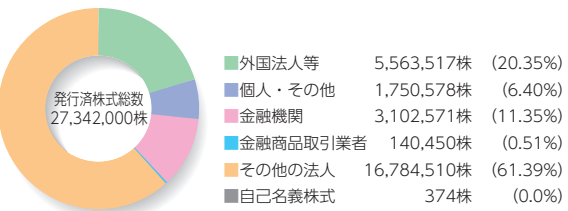
代表取締役社長	湯浅英雄
代表取締役副社長	仲地正和
常務取締役	山森誠司
取締役	友利克輝
取締役（社外）	小禄邦男
取締役（社外）	阿波連光
取締役	田中孝司
取締役	東海林崇智
常勤監査役（社外）	三井昌利
監査役（社外）	安里昌義
監査役（社外）	嘉手苧義男
監査役（社外）	金城棟啓

株式状況

大株主

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
KDDI株式会社	14,086,000	51.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,059,800	3.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	937,400	3.42
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	695,375	2.54
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	630,200	2.30
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	609,700	2.22
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR : FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	525,000	1.92
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG / JASDEC/ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	500,000	1.82
株式会社沖縄銀行	472,000	1.72
沖縄電力株式会社	472,000	1.72
琉球放送株式会社	472,000	1.72
オリオンビール株式会社	472,000	1.72

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日における最終の株主名簿に記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。
中間配当金受領株主確定日	取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日における最終の株主名簿に記録された株主又は登録株式質権者にお支払いいたします。
公告の方法	当社公告につきましては、下記ホームページに掲載いたします。 https://www.au.com/okinawa_cellular/ ※ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

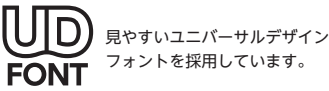
株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料） https://www.tr.mufig.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場

お知らせ

- (1) 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

お問い合わせ

〒900-8540 沖縄県那覇市松山1丁目2番1号
沖縄セルラー電話株式会社 総務部
098-869-1001（代表）
https://www.au.com/okinawa_cellular/



第29期 中間株主通信

（2019年4月1日から2019年9月30日まで）

証券コード：9436

沖縄セルラー電話株式会社



「夏宿る」 水彩画 知花 竜也



代表取締役社長

湯浅 英雄

■株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず初めに、この度の台風および豪雨などの災害により被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

また、本年10月31日に発生した火災により、沖縄のシンボルである首里城が焼失しました。沖縄セルラーグループは、首里城の復旧・復興に向けて全力で支援して参ります。

当社を取り巻く情報通信市場は、新規通信事業者の参入や電気通信事業法の改正等により、競争が激化しております。

その様な事業環境の中、当社は順調に顧客基盤が拡大している通信事業を核として、今後本格化する第5世代移动通信システム(5G)・IoTなど、収益の確保に向けて取り組んでおります。

また、非通信事業においても「auでんき」の開始に加え、新規事業(海底ケーブル、スマートビル)の立上げに向けた取り組みを加速しております。

今後もグループの総力を結集し、株主および投資家の皆さまにとって魅力ある企業となるよう邁進して参りますので、何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■当中間期の当事業概況について

当中間期決算は、営業収益が前年同期比**2.4%増**の**334億30百万円**、営業利益が**3.9%増**の**74億46百万円**となり、**増収増益**となりました。

主力の通信事業におきましては、**モバイル総契約数**が前年同期比**3.1%増**の**71万7,800契約**(2019年9月末)、**FTTH累計回線数**が**9.5%増**の**10万回線**(同)となり、FTTHは節目となる10万回線を突破いたしました。

非通信事業におきましても、沖縄電力様と業務提携し新サービス「auでんき」を11月に開始いたしました。沖縄のインフラを支える企業同士の協業により、お客さまの更なる利便性向上に貢献できると考えております。

2020年3月期通期業績予想

営業収益	65,600 百万円	進捗率 51.0%
営業利益	13,000 百万円	進捗率 57.3%
経常利益	13,050 百万円	進捗率 57.4%
設備投資	11,800 百万円	進捗率 13.9%

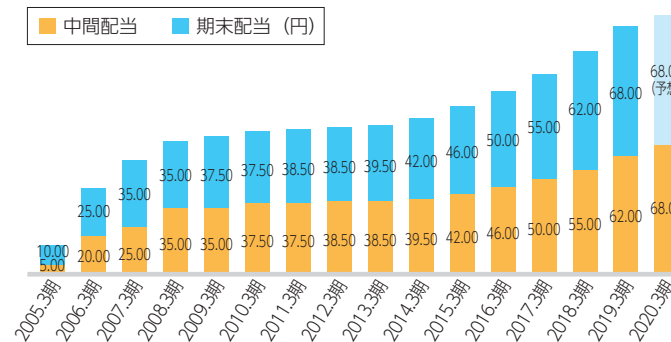
■株主還元について

当社は株主の皆さまへの利益還元を経営上の重要課題と位置づけております。

今期の1株当たり配当金は**136円(前期比6円増)**で**19期連続の増配**を予想しており、中間配当においては**前年同期比6円増**の**68円**の配当を実施いたしました。

今後も成長の果実を株主の皆さまへ積極的に還元する姿勢に変わりはなく、**配当性向40%超かつ増配の継続**を目指して参ります。

■1株当たり配当金の推移



当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識しており、今後の事業展開に備えるための内部留保や財務体質の強化を勘案しつつ、安定配当を継続的にを行うことを基本方針としております。

(注) 1. 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施(配当据え置き)しております。
2. 2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。

■中長期の事業方針、戦略、見通しについて

沖縄は本土と異なり2030年まで人口増加が予測されており、モバイル市場は引き続き拡大する見通しです。また、FTTH回線の普及率も49.2%(2019年6月時点)と全国平均と比べ6.0ポイントほど低く、モバイル、FTTHともに伸びしろがある有望な市場となっております。本業の通信事業以外でも「auでんき」のサービス拡大に加え、今後増大する通信トラフィック対応としての「海底ケーブル」や、IoT・ICTを活用する「スマートビル」の建設など新たな事業分野に取り組んで参ります。

また、自治体・地元企業と協働して地域の課題解決のためのサービスを開発することも重要だと考えており、今期は当社ビル内に「KDDI DIGITAL GATE」をオープンいたしました。これにより、当社が自治体・地元企業と今まで以上に連携を深め、5Gなどの新技術を活用した新たなビジネスを共創することができればと考えております。

業績についての詳細はこちらもご覧ください

➡ https://www.au.com/okinawa_cellular/ir/finance/highlight/

KDDIグループ、ネットワークの強靱化に向け、 「沖縄セルラー沖縄～九州海底ケーブル」を新たに建設 ～5G時代の高トラフィックと大規模災害への対応を支える～

沖縄セルラー電話株式会社は、KDDI株式会社の協力のもと、沖縄九州間の海底ケーブルにおいて、これまでの太平洋ルート(2本)に加え、東シナ海ルート「**沖縄セルラー沖縄～九州海底ケーブル**」を新たに建設します。

本海底ケーブルは、今後さまざまな産業や地域経済にも活用が見込まれる次世代移動通信システム「5G」の普及に伴うトラフィックの増加や、南海トラフ地震をはじめ想定される大規模災害への対応を見据え、80Tbpsの大容量通信を可能とし、沖縄経済の発展にも貢献していきます。

地元全力!

■沖縄の5G時代を支える基盤ネットワークの構築

→ますます増大する通信トラフィックへの対応
(経済の持続的成長)

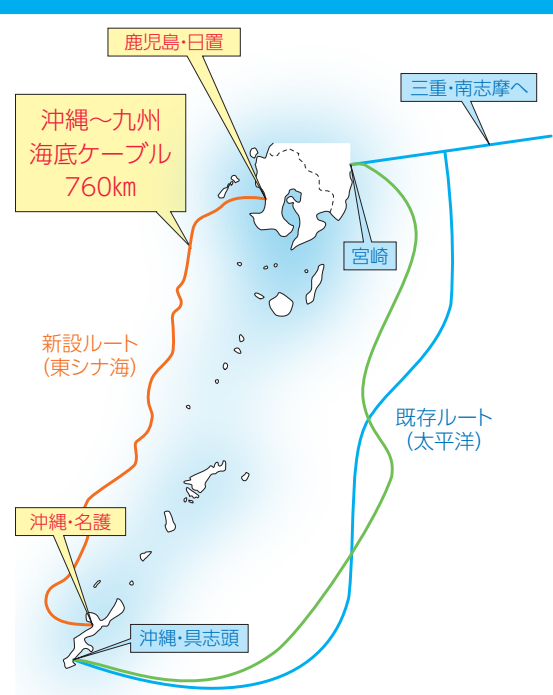
■南海トラフ地震など大規模災害を見据えたネットワークの強靱化

→大規模災害時の孤立化を防ぐ東西2ルート化による信頼性の向上(生活インフラの安定化と経済の継続性)

「沖縄セルラー沖縄～九州海底ケーブル」の概要

- (1)ネットワーク構成 沖縄県名護市～鹿児島県日置市
- (2)運用開始時期 2020年4月(予定)
- (3)回線容量 80Tbps
- (4)全長 約760km
- (5)海洋最深部 約1,200m

ネットワーク概略図



連結財務ハイライトサマリー

営業収益

33,430 百万円

前年同期比
2.4%増



営業利益

7,446 百万円

前年同期比
3.9%増



経常利益

7,489 百万円

前年同期比
3.7%増



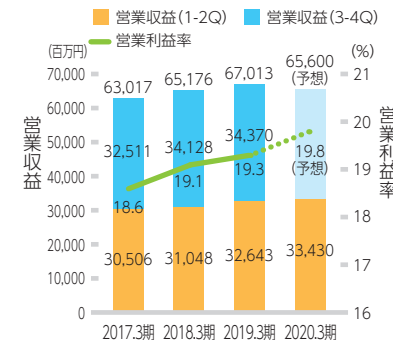
1株当たり中間配当金

68.00 円

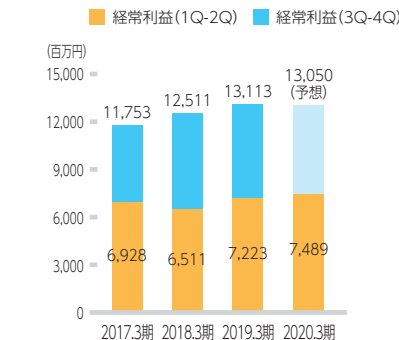
前年同期比
6.00円増



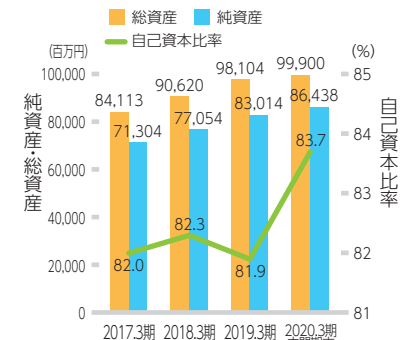
■営業収益・営業利益率



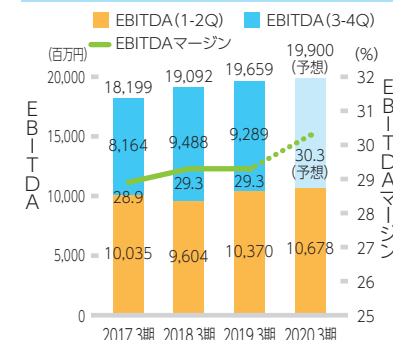
■経常利益



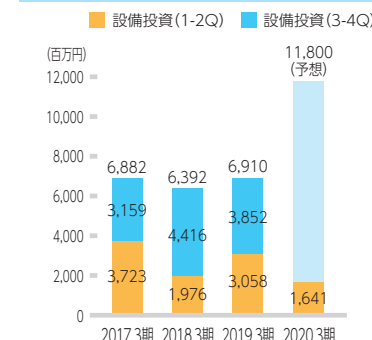
■総資産/純資産/自己資本比率



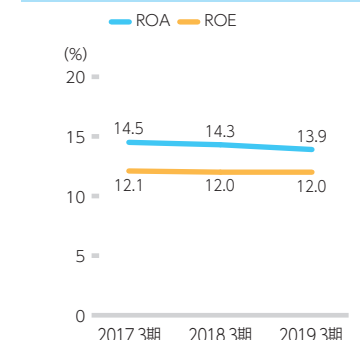
■EBITDA・EBITDAマージン



■設備投資の状況(竣工ベース)



■ROE/ROA



モバイルサービス

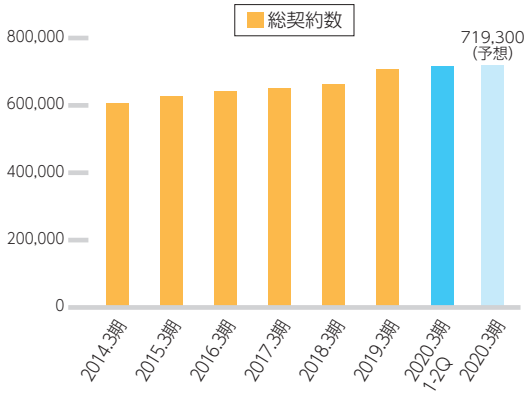
当中間期は、ネットワーク品質の向上などお客さま重視のサービスに取り組んだ結果、前年同期と比較して総契約数が21,800契約増加(3.1%増)し、当中間期末では717,800契約となりました。

【サービスデータの状況】

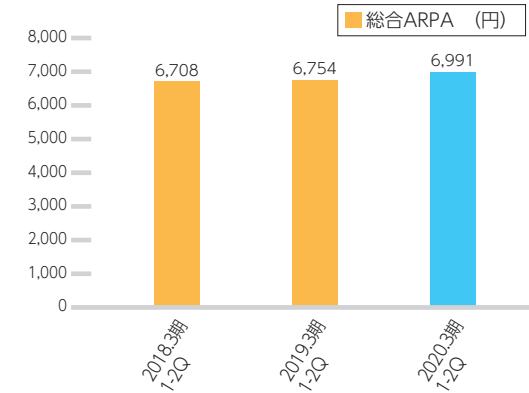
	前年同期比較			
	2019.3期 1-2Q実績 (A)	2020.3期 1-2Q実績 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増数	13,900	8,400	-5,500	-39.6%
総契約数	696,000	717,800	+21,800	+3.1%
携帯電話総販売数	(台) 113,800	117,700	+3,900	+3.4%
総合ARPA*	(円) 6,754	6,991	+237	+3.5%
内au通信ARPA	6,390	6,567	+177	+2.8%
内付加価値ARPA	364	424	+60	+16.5%

* MVNOおよびプリペイドを除く

総契約数の推移



総合ARPAの推移

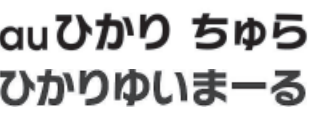


(注) 1. 純増数、総契約数および携帯電話総販売数には、データ専用端末、タブレット、通信モジュールサービスの契約数も含まれております。
2. 純増数、総契約数および携帯電話総販売数は百契約未満を四捨五入しており、増減は端数処理後の数値を記載しております。
3. ARPA (Average Revenue Per Account) : 契約者1人当たりの売上高。MVNOおよびプリペイドは除く。
au通信ARPA : モバイル通信料収入 ÷ au契約者数
付加価値ARPA : 付加価値ARPA収入 (「決済手数料収入 + 自社サービス他収入など」) ÷ au契約者数

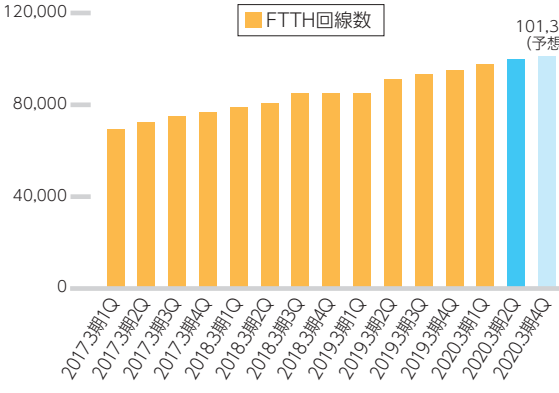
FTTHサービス

当中間期は、前年同期と比較して回線数が8,700回線増加(9.5%増)し、当中間期末で100,000回線となりました。2010年3月サービス開始より現在に至るまで契約回線数は順調に伸びています。

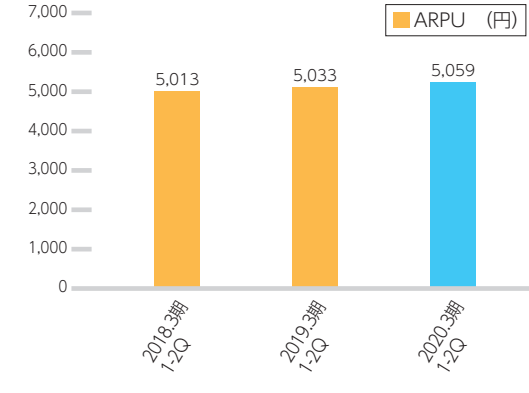
【サービスデータの状況】

	前年同期比較			
	2019.3期 1-2Q実績 (A)	2020.3期 1-2Q実績 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)
純増回線数	4,700	4,700	±0	±0%
累計回線数	91,300	100,000	+8,700	+9.5%
ARPU	(円) 5,033	5,059	+26	+0.5%

FTTH累計回線数の推移



ARPUの推移



(注) 1. 純増回線数および累計回線数は、百回線未満を四捨五入して表示しております。
2. 純増回線数と累計回線数は、auひかりちゅら、auひかりちゅらビジネスおよびひかりゆいまーるを記載しております。
3. 増減については、端数処理後の数値を記載しております。
4. ARPUについては、auひかりちゅらのARPUを記載しております。
5. ARPU (Average Revenue Per Unit) : 1契約当たりの月間平均収入。